

# 起きやすい事故と予防のポイント

起きやすい事故	予防のポイント
 <p>溺水</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浅い水でも浴槽で溺死することがあるので、浴槽の水を抜いておく。</li> <li>● 子どもだけで浴室に入れない。</li> <li>● 風呂場には鍵をかけておく。</li> </ul>
 <p>窒息</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 寝具の環境を整える。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・布団は固めのものを選ぶ。</li> <li>・タオルや布団で赤ちゃんの顔を覆わないようにする。</li> </ul> </li> <li>● 添い寝をしながら授乳をしない。</li> <li>● 原因になりやすい食べ物（ピーナッツなどの豆類、こんにゃくゼリーなど）を与えない。</li> <li>● ビニール袋やひもなどを放置しない。</li> </ul>
 <p>誤飲・中毒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの身のまわりや手の届くところに、<u>たばこ・薬・化粧品</u>など、誤飲や中毒につながるものは置かない。</li> <li>● <u>小さい子どもを台所など危険なものが置いてあるところには入れない。</u></li> </ul>
 <p>やけど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>熱いものから子どもを遠ざける。</u></li> <li>● <u>小さい子どもを台所など危険なものが置いてあるところには入れない。</u></li> </ul>
 <p>転落・転倒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少しずつ動いて移動していることがあるので、ベッドの柵は必ず上げておく。</li> <li>● ハイハイやつかまり立ちができ、動き回るようになり、いろいろな事故が起こりやすくなるので、子どもから目を離さないようにする。</li> <li>● <u>ベッドやいす、ソファーなどの上で遊ばせない。</u></li> </ul>
 <p>交通事故</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 危険なことをした場合に毅然とした態度でしかる、などの安全のしつけをする。</li> </ul>

〈茨城県・茨城県地域医療対策協議会小児救急医療部会ワーキングチーム「子どもの救急ってどんなとき？〔上手なお医者さんのかかり方〕〉

# 救急受診の目安・判断チェックリスト

当てはまると思う所にチェックしてください。

医療機関の電話受付や#8000の電話相談員に説明するとき、医療機関を受診して事務、看護師、医師に病状を伝えるときに利用しましょう。

「いつもと違う」が救急受診の目安です！必ず「違う点」を診療医に伝えましょう！

## 【外観（見た目）】

- 無表情であやしても笑わない（好きなおもちゃなどにも興味を示さない）
- 機嫌が悪く、何をしても機嫌が良くならない
- グッタリしている・何をしても反応が乏しい・悪い
- 泣き方が弱い・苦しそうに泣く・呼びかけに反応しない・しゃべらない

## 【その他】

- 頭を強く打った！
  - すぐ泣かなかつた
  - 何回も吐く
  - 意識がもうろうとする
  - 打撲部がブヨブヨしている
  - 血が止まらないほど切れている
  - けいれんが起きた
- 腹部を強く打った！
  - 吐き出した
  - 顔が悪くなった
- 手足を強く打った！
  - 腫れている
  - 動かさない
  - 変形している
- やけどした（※軽そうでも）

## 【呼吸（息）】

- 呼吸が苦しそう！
  - ゼーゼー言って横になれない（横になって眠れない）
  - 呼吸のたびに肩があがる
  - 小鼻がヒクヒクしている
  - 呼吸のたびに胸がベコベコ凹む
  - 呼吸が苦しくてしゃべれない
  - 咳き込んで何度も吐く
  - 呼吸が苦しく水分もとれない

## 【救急車を呼ぶべき症状】

- 刺激してもぐったりして反応が鈍い、眠ってばかりいる
- けいれんが5分以上続く
- 意味不明の言動があり、異様に興奮している
- 呼吸が止まりそう・無呼吸（15秒以上）がある
- 呼吸していない・呼吸ができない
- 全身が真っ青になっている

## 【循環（血めぐり）】

- 顔が白い（赤味がない）・青い
- 手足がいつもと違って異様に冷たい・赤味がなく白い
- 皮膚がまだら色をしている
- 顔や手が紫色をしている
- 冷や汗をかいている

## 上記のどれかの症状を認めたら、時間構わず救急受診しましょう！

迷うときは **小児科学会（子どもの救急）** を利用しましょう。電話で相談したいときは、**小児救急電話相談（#8000）** を利用しましょう。

【子どもの救急（社団法人 日本小児科学会）】 <http://www.kodomo-qq.jp>

【茨城子ども救急電話相談】

24時間365日（年中無休）

お子さんが急な病気で心配なときご相談ください。看護師がお答えします。

プッシュ回線、携帯電話から 短縮ダイヤル【#8000】 すべての電話から 050-5445-2856

〈茨城県・茨城県地域医療対策協議会小児救急医療部会ワーキングチーム「子どもの救急ってどんなとき？〔上手なお医者さんのかかり方〕〉